

第22回名古屋ビジネスセミナーを開催

●大学院経済学研究科

大学院経済学研究科附属国際経済政策研究センターは、12月3日(木)、日本経済新聞社名古屋支社会議室において、第22回名古屋ビジネスセミナーを開催しました。このセミナーは経済学部同窓会であるキタン会と共同で開催しており、今回は梅森 徹日本銀行名古屋支店長を講師に招きました。



講演を行う梅森支店長

同センターでは、大学院経済学研究科と緊密に協力しつつ、領域横断型の研究を開拓し、その成果を広く社会に還元することを任務としており、同セミナーはその一環として開催したもので、定員100名を超える申し込みがありました。

山田同センター長による開会あいさつに続いて、梅森支店長より「最近の金融経済情勢と展望」と題して講演が行われました。講演の中では、世界経済、日本経済の現状と見通しに続いて、当地経済が全国を上回るペースで回復している要因として、輸出依存度が高いこと、中国経済の減速の影響を受けにくいこと、設備が更新期に当たっていること、そして労働需給がタイトであることの4点が挙げられ説明が行われました。また、少子化対策としての結婚支援や事業承継支援についての思いが述べられました。講演後には質疑応答も行われ、聴衆からは「東海地区に特化した分析がよかった」、「話が具体的で感服した」、「格調高い講演で満足した」などの意見が寄せられました。

同センターでは、今後も地域社会の要請を踏まえ、時宜にかなったテーマにより同セミナーを開催していきたいと考えています。